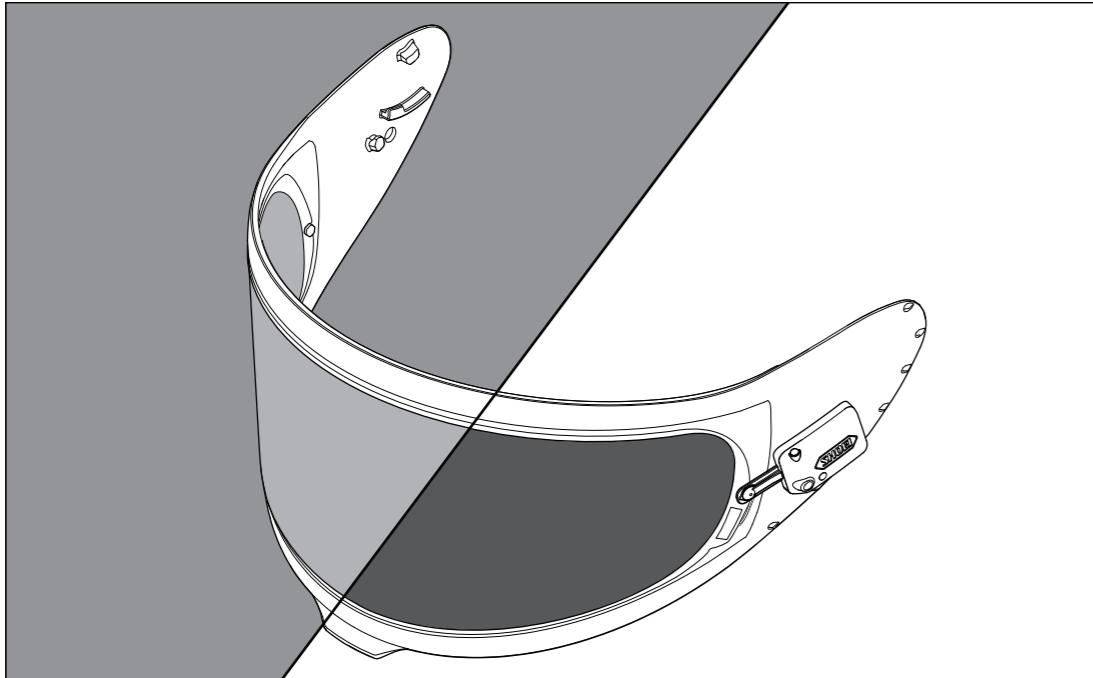


e:DRYLENS の取り扱い方法と ご注意

428

**株式会社 SHOEI 本社・国内営業部**

〒110-0016 東京都台東区台東 1-31-7 Tel: 03-5688-5180 Fax: 03-3837-8245

製品についてのお問い合わせは、お近くの SHOEI 正規販売店か下記 Web サイトをご覧いただき、お問い合わせください。

shoei.com/worldwide/sales.html

Contents

日本語	1
-----------	---

e:DRYLENS の取り扱い方法とご注意

本取扱説明書は、ヘルメットのシールドに、e:DRYLENSを取り付け・取り外しする際の手順やe:DRYLENSコントローラーの操作方法・充電方法などについて記載しています。

e:DRYLENSシートは、タイプにより適合シールドが異なります。e:DRYLENSシートの取り付けには、専用のシールドが必要です。

本作業で必要なもの：e:DRYLENSシート（取り付けるシールド用のものをご準備ください）、e:DRYLENSコントローラー、サービスツールなどの先が平らなプラスチック製の板

※本取扱説明書内のイラストは、代表して、一般的な形状のシールドのイラストを掲載しています。シールドはタイプによって形状が異なります。イラストとは形状の異なるシールドに対しても、本取扱説明書と同じ要領で作業してください。

e:DRYLENSの特徴

e:DRYLENSは、ベースとなるシールドの内側に透明で柔軟性のある防曇効果の高いe:DRYLENSシートを取り付けることで、シーリングによってシールドとの間に密閉空間を作り、e:DRYLENSシートの防曇効果とシールドとの2層構造の効果で曇りを抑え、クリアな視界を確保します。

また、液晶フィルムを使用した電子調光により、マニュアルモードでの手動操作、もしくはオートモードの自動調整で、e:DRYLENSシートの可視光線透過率を「ライト（透過率：高）」と「ダーク（透過率：低）」に切り替えることができます。

e:DRYLENSに関するご注意



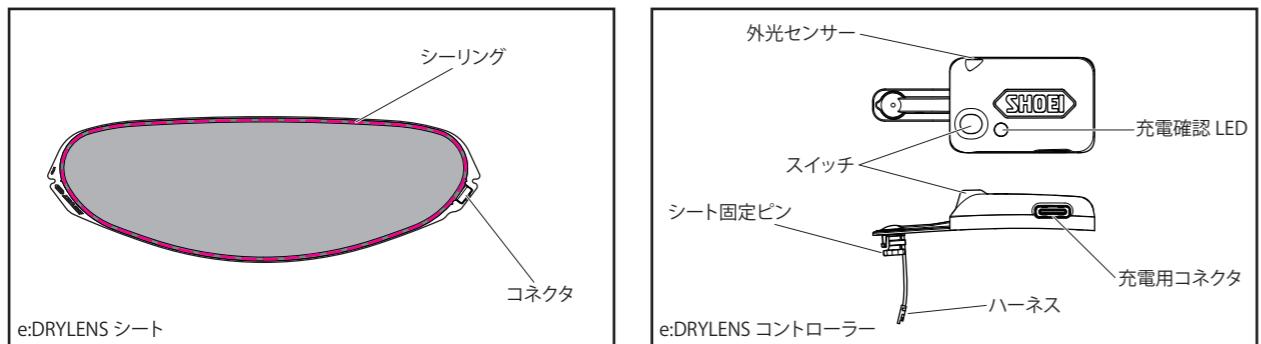
警告

- e:DRYLENSシートは、専用のシールド以外には装着できません。
必ず専用のクリアシールド、シート固定ピンおよびe:DRYLENSシートを使用し、専用以外のシールドを加工したり、純正品以外のシート固定ピンを取り付けたりしないでください。また、必ず保護フィルムを全て剥がしてからお使いください。
- e:DRYLENSシートおよびe:DRYLENSコントローラーを装着した状態で、夜間やトンネル内、雨天、霧などの視界の悪い環境では使用しないでください。
- e:DRYLENSシートおよびe:DRYLENSコントローラーを保管する際は、直射日光・高温・多湿になる場所を避け室内で保管してください。
- e:DRYLENSシートおよびe:DRYLENSコントローラーは、分解、改造などをしないでください。異音、異臭、発熱、発煙、発火、変色、変形、液漏れなどの恐れがあります。
- e:DRYLENSシートおよびe:DRYLENSコントローラーを保管、または使用中に、異音、異臭、発熱、発煙、発火、変色、変形、液漏れなどの異常が発生した場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めいただきました正規販売店様までお問い合わせください。
- e:DRYLENSコントローラーには、充電式のリチウムイオンバッテリーが内蔵されています。必ず本取扱説明書の内容をよく読んで理解し、正しく使用してください。正しく使用しない場合は、異音、異臭、発熱、発煙、発火、変色、液漏れなどの恐れがあります。
- e:DRYLENSコントローラーの充電に使用する充電器やモバイルバッテリーのUSBケーブルは、必ず本製品の電源仕様（5V / 50mA）に適合するものを使用してください。また、直射日光・高温・多湿になる場所を避け、室内で充電してください。
- e:DRYLENSコントローラーは、充電しながら走行しないでください。
- 雨水などでe:DRYLENSコントローラーが濡れた場合や、クリーニング後は、水分を拭き取ったとしても、すぐに充電しないでください。充電用コネクタ部分に水分が残っている可能性があり、故障の原因となる恐れがあります。必ず、十分に時間を置いて自然乾燥させてから充電するようにしてください。
- ヘルメットを落下させたり、ぶつけるなどして、e:DRYLENSシートおよびe:DRYLENSコントローラーに強い衝撃を与えないでください。バッテリーに異音、異臭、発熱、発煙、発火、変色、変形、液漏れなどが発生する恐れがあります。異常が発生した場合は、直ちに使用を中止し、本製品を火災などの心配がない安全な場所に保管した上で、お買い求めいただきました正規販売店様までお問い合わせください。
- e:DRYLENSシートおよびe:DRYLENSコントローラーをストーブやヒーターなどの高温になる場所に近づけたり、火の中に入れたりしないでください。発火、変形、破損の原因になります。
- バッテリーから漏れ出た液体が目に入った場合、こすらずきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
- 本製品は日本国内でのみ使用することを前提に設計、製造されています。国外の使用でのトラブルなどは対応いたしかねます。
- e:DRYLENSシートおよび付属品、梱包物を廃棄する場合は、地域の法律やルールに従って適切に処理してください。
e:DRYLENSコントローラーには充電式のリチウムイオンバッテリーが含まれています。廃棄の際はバッテリーを含む製品として、各地域の指示に従いリサイクルまたは適切に処分してください。



- e:DRYLENSコントローラーを装着すると、風切り音が大きくなる場合があります。
- 激しい発汗や呼吸、低温多湿などの曇りやすい条件下でヘルメット内が密閉された状態が続くと、水蒸気でe:DRYLENSシートが飽和状態となり、e:DRYLENSシートを装着してもじみや曇りが発生することがあります。また、チンカーテンを装着すると、チンガード内の換気が弱まるため、じみや曇りが発生しやすくなります。（シート固定ピンの周りはピンの構造上シートが浮き、曇りが発生する場合があります。）その際は直ちに使用を中止し、シールドからe:DRYLENSシートを外して、十分乾燥させ、ヘルメットのロアエアインテークを開けるなどして、ヘルメット内をよく換気してください。
- 雨天時は雨水がシールドとe:DRYLENSシートの間に浸入しないように注意してください。特に走行時は、風圧でe:DRYLENSシートのシーリング内に雨水が浸入する可能性があるため、シールドやフェイスカバーは閉めて走行してください。
- シールドとe:DRYLENSシートの間に曇りが発生したり、雨水などが浸入したりしたときは、e:DRYLENSシートを外して、シールドとe:DRYLENSシートの両方を十分に自然乾燥させてから、e:DRYLENSシートを取り付け直してください。
- e:DRYLENSシートは、定期的に取り外し、メンテナンスを行ってください。長期間装着したままになると、シーリングがシールド面に貼り付くことがあります。
- e:DRYLENSシートを保管する際は、柔らかい布などで包み、直射日光・高温・多湿になる場所を避け室内で保管してください。埃などが付着した際は、エアダスターを使用するとスムーズにゴミを除去出来ます。製品パッケージに戻しての保管や、e:DRYLENSシートをそのまま保管する事は避けてください。
- e:DRYLENSシートは、シールドや他の防曇シートより傷が付きやすいため、装着時や取り扱いには十分注意してください。
- e:DRYLENSシートは、先端の細いもので強く押したり、強く折り曲げたり、強い衝撃を与えないでください。調光機能が破損する恐れがあります。
- e:DRYLENSシートは素材の特性上、視界に影響のない範囲に小さい傷などがあることがあります。機能上の問題はありません。
- 防曇性能が低下したり、e:DRYLENSシートに傷が付いたりした場合は、新しいものと交換してください。その際は、SHOEI純正品のe:DRYLENSシートをご購入ください。
- ライディングポジションによって、e:DRYLENSシートのシーリングが視界にかかることがあります。
- e:DRYLENSシートを装着すると、ライディングポジションによっては視界がゆがんで見える場合があるのでご注意ください。
- 「e:DRYLENSコントローラーの取り付け」作業時に取り外したシート固定ピンは、再利用しないでください。
- e:DRYLENSコントローラーのみを取り付けた状態（e:DRYLENSシートを取り付けていない状態）で走行しないでください。
- e:DRYLENSコントローラーのハーネスと、e:DRYLENSシートのコネクタの取り付け、取り外し作業はゆっくりていねいに行ってください。頻繁な付け外しや、無理な力を加えたり、ハーネスのケーブル部分を引っ張って取り外したりすると、ハーネスとコネクタが破損する恐れがあります。
- e:DRYLENSコントローラーの充電は、周囲温度が0°C～40°Cの環境で行ってください。この範囲外の低温、高温下での充電は、バッテリー寿命の低下につながります。
- e:DRYLENSコントローラーは、必要以上の連続充電をしないでください。e:DRYLENSコントローラーのバッテリーが満充電になったら、必ず充電用コネクタからUSBケーブルを抜いてください。
- e:DRYLENSコントローラーとUSBケーブルを抜き差しする場合は、必ずe:DRYLENSコントローラーとUSBケーブルの根元部分を持ち、ゆっくり抜き差してください。無理な力を加えたり、ケーブル部分を引っ張って抜いたりすると、e:DRYLENSコントローラーが破損する恐れがあります。
- バッテリーから漏れ出た液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- バッテリーは、繰り返しの使用や経年劣化により、充電容量が低下します。（寿命によるものです。）
- e:DRYLENSシート着脱の際に、シートを湾曲せたり、指で触れるなどの影響で液晶面が一時的に暗くなることがあります。液晶の特性であり、異常ではありません。
- e:DRYLENSシートの外周部に黒い縁取りがありますが、液晶の特性であり異常ではありません。特にシート固定ピンの近くで、温度変化による液晶の熱膨張により、この黒い縁取りが大きくなることがあります。異常ではありません。

各部の名称

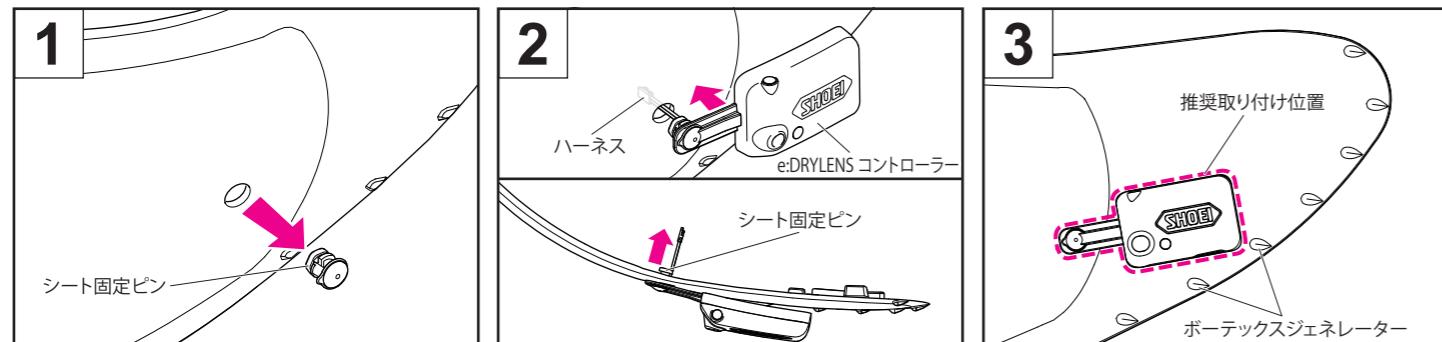


e:DRYLENS コントローラーの取り付け方

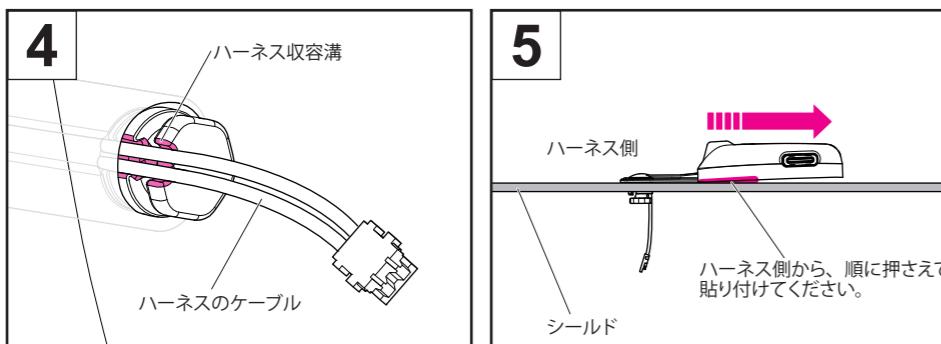
シールドに、e:DRYLENS コントローラーを取り付けます。

- !** • e:DRYLENS コントローラーは、シールドに取り付ける前に、e:DRYLENS シートと仮接続して、動作確認を行ってください。
e:DRYLENS コントローラー内のバッテリーが完全放電して動作確認できない場合は、「e:DRYLENS コントローラーの充電方法」を参照し、e:DRYLENS コントローラーを充電してください。
- e:DRYLENS コントローラーをシールドに取り付ける前に、シールドは水で薄めた中性洗剤で洗浄し、指紋や、油分、汚れを落としてください。また、作業前に手を清潔にしてください。

1. シールド左側のシート固定ピンを取り外します（図 1）。シート固定ピンの取り外し方については、以下の URL をご確認ください。
https://www.youtube.com/watch?v=s1npH_SrTVc&pp=0gcJcf8Ao7VqN5tD
2. e:DRYLENS コントローラーのハーネスを、シールド左側のシート固定ピンの穴に通し、シート固定ピンをシールドに差し込みます（図 2）。



- e:DRYLENS コントローラーは、ボーテックスジェネレーターに干渉しないシールドの平坦な位置に取り付けてください（図 3）。
- 両面テープの粘着力は強力なので、コントローラーが不用意な位置に接着してしまわないように十分注意してください。必ず、両面テープの保護紙を剥がす前に、コントローラーの取り付け位置を仮決めしてから、両面テープの保護紙を剥かして取り付けるようにしてください。
- シート固定ピンを差し込む際は、ハーネスのケーブルがシート固定ピンの穴を完全に通ったこと、シート固定ピンのハーネス収容溝に沿つてケーブルが通っていることを確認しながら差し込んでください（図 4）。正しく差し込まないと、ハーネスの断線の原因となります。
- e:DRYLENS コントローラーを貼り付ける際は、図のように e:DRYLENS コントローラーのハーネス側から順に押さえるようにして、e:DRYLENS コントローラーとシールドの間にできるだけ隙間ができないように貼り付けてください（図 5）。



- e:DRYLENS コントローラーを貼り付ける際は、e:DRYLENS コントローラーを上から強い力で押さえないようにしてください。（力加減の目安：親指と人差し指とで摘む程度の力）
- 貼り付け後、両面テープの中心部に気泡が入っていても、取り付け強度に問題はありません。気泡が入っていても、貼り付け直さないでください。

e:DRYLENS シートの取り付け方

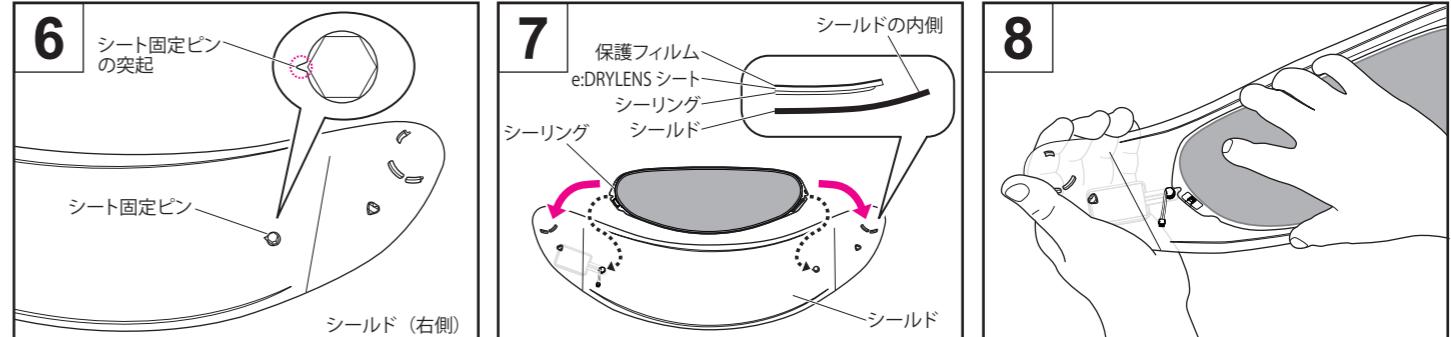
シールドに、e:DRYLENS シートを取り付けます。

1. 専用のシールドに取り付けられている右側のシート固定ピンの突起が、図 6 のようにシールドの中心方向に向いているか確認します。突起が中心方向を向いていないときは、サービスツールや工具などでシート固定ピンを回して、突起を中心方向に調整してください。
- * e:DRYLENS コントローラーのシート固定ピンには突起がありません。
2. e:DRYLENS シートの保護フィルムの両端を剥がし、シーリングがある面をシールドに密着するように取り付けます（図 7）。

* e:DRYLENS シートの上下は、保護フィルムに貼付されているステッカーの表示で確認してください。

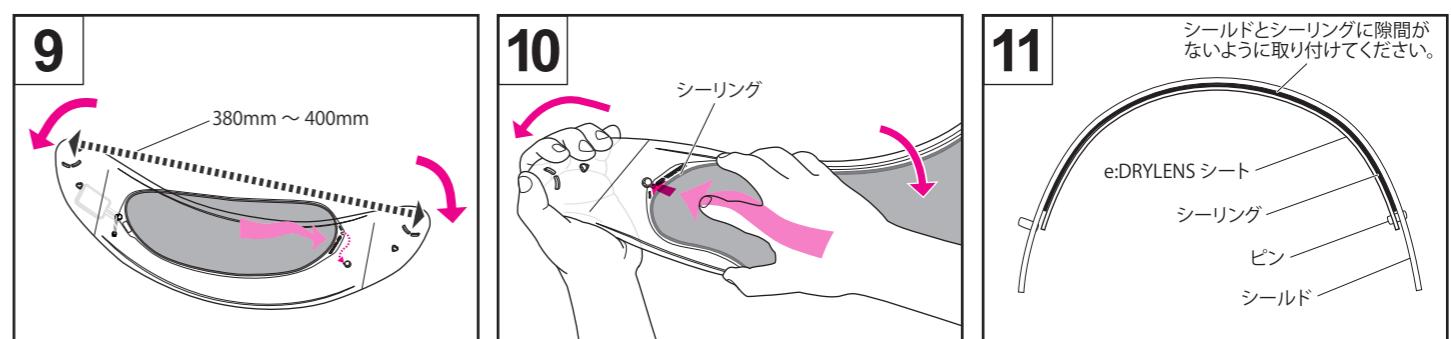
この保護フィルムが剥がされた面は手袋にてシールドに取り付け、保護フィルムをはがしてからご使用ください。
Install SHOEI DRYLENS lens with silicon bearing correctly. Please do not touch the film until it has been applied to the shield.
Instal le filtre SHOEI DRYLENS avec joint en caoutchouc correctement. Ne touchez pas la pellicule de protection avant utilisation.
Otez le filtre SHOEI DRYLENS avec les deux extrémités de la pellicule de protection et appliquez la face collante sur le bouclier.
Pone la parte del silicio del SHOEI DRYLENS para que el lado de la pellicula adhesiva esté en contacto con el bouclier.
use retire esta pelicula protectora.

取り付けは、図 8 のように片方のシート固定ピンに e:DRYLENS シートを差し込みます。



3. シールドを十分に開き（図 9）、e:DRYLENS シートの反対側もシート固定ピンに差し込みます（図 10）。

- !** • シールドを十分広げずに装着しようとすると、シート固定ピンを破損することができます。取り付けの際、シールド内側の汚れを取り、e:DRYLENS シートのシーリング側の面に手を触れないように、取り付けてください。



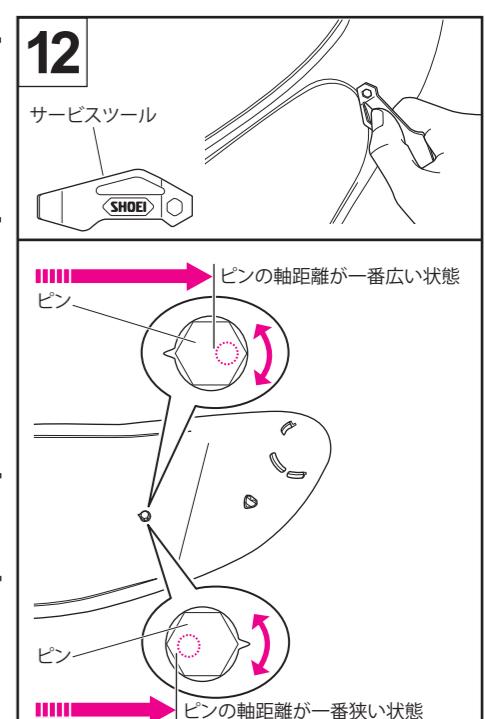
e:DRYLENS シートの調整

e:DRYLENS シートがシールドに密着しない場合は、次の方法で調整します。

- !** • シールドは、ヘルメットに装着していない状態では、装着した状態より e:DRYLENS シートの応力により広がっている場合があります。e:DRYLENS シートの密着確認は、ヘルメットに装着した状態で行ってください。
- e:DRYLENS コントローラーのシート固定ピンは偏心ピンではないため、e:DRYLENS シートの調整ができません。e:DRYLENS シートの調整は、右側のシート固定ピンで行ってください。

1. ヘルメットからシールドを外し、シールドから e:DRYLENS シートを取り外します。
2. シールド右側のシート固定ピンは、中心をずらした設計の「偏心ピン」を採用しています。シート固定ピンの突起がシールドの中心方向に向いている状態が、もっとも軸間が広がっているので、サービスツールや工具などでシート固定ピンを回し、軸間を狭めて調整してください（図 12）。
3. e:DRYLENS シートをシールドに取り付け、シールドをヘルメットに装着して、シールドと e:DRYLENS シートが密着しているか確認します。さらに調整が必要な場合は、手順 1 ~ 3 を繰り返して、調整してください。

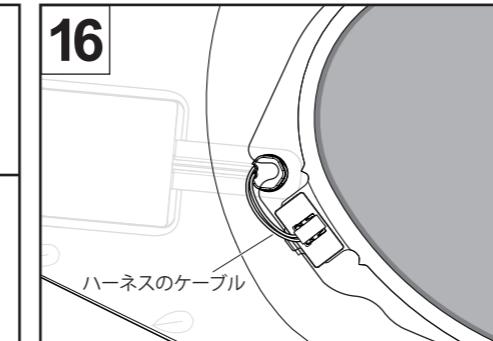
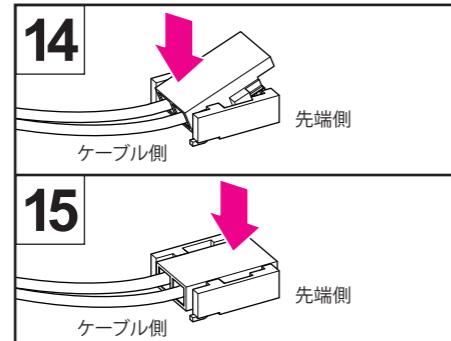
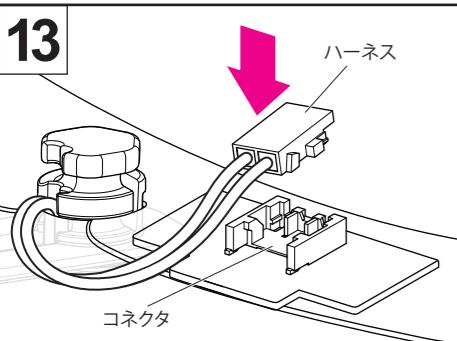
- !** • e:DRYLENS シートは気候により伸縮したり、長期使用により取り付け部が変形する場合があります。定期的に取り付け状態を確認し、調整範囲を超えた場合は e:DRYLENS シートを交換してください。



e:DRYLENS のシートとコントローラーとの接続

e:DRYLENS シートと e:DRYLENS コントローラーを接続します。

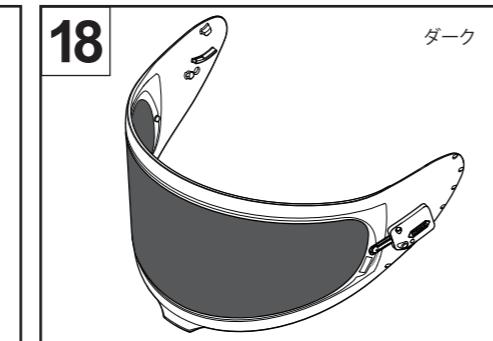
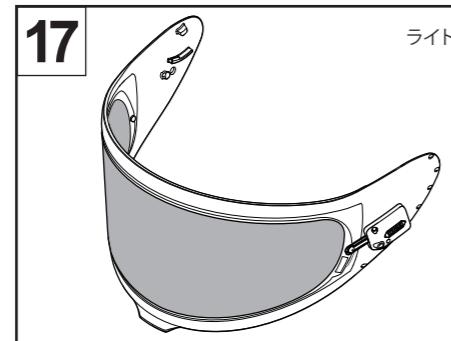
1. e:DRYLENS コントローラーのハーネスを、e:DRYLENS シートのコネクタに取り付けます（図 13）。ハーネスは、先にケーブル側をコネクタにはめ込み（図 14）、その後に先端側をはめ込んでください（図 15）。
- * e:DRYLENS コントローラーのハーネスを、e:DRYLENS シートのコネクタに取り付けると、接続が完了し、e:DRYLENS コントローラーの操作が可能になります。



e:DRYLENS の機能と操作方法

e:DRYLENS の機能

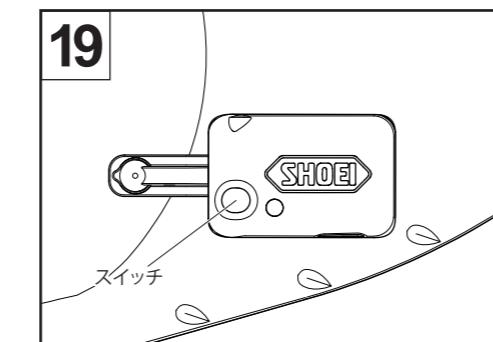
e:DRYLENS は、マニュアルモードでの手動操作、もしくはオートモードの自動調整で、e:DRYLENS シートの可視光線透過率を「ライト（透過率：高）」と「ダーク（透過率：低）」に切り替えることができます（図 17、18）。



マニュアルモードの操作方法

e:DRYLENS シートと e:DRYLENS コントローラーを接続すると、マニュアルモードで起動します。

e:DRYLENS コントローラーのスイッチを押す毎に、「ライト」と「ダーク」が交互に切り替わります（図 19）。

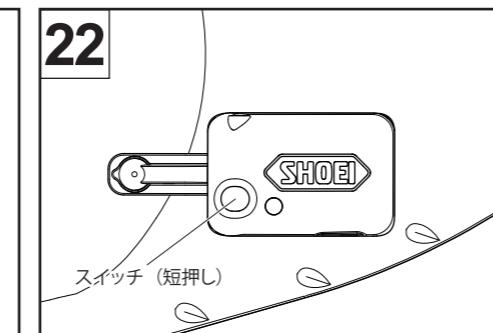
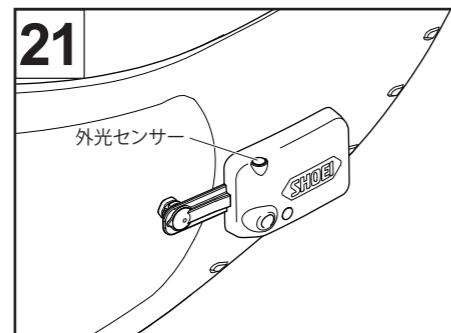
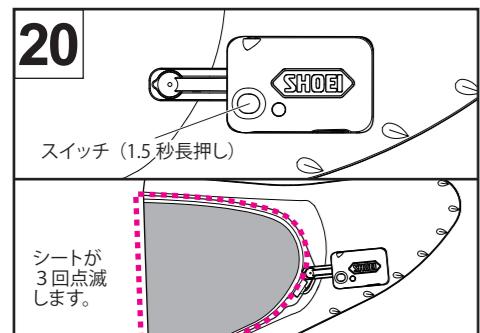


オートモードの操作方法

1. e:DRYLENS シートが「ライト」の状態で、e:DRYLENS コントローラーのスイッチを約 1.5 秒間長押しすると、e:DRYLENS シートが 3 回点滅し、オートモードになります（図 20）。

* e:DRYLENS シートの点滅を確認してから、スイッチを離してください。

オートモードでは、外光センサーで周囲の明るさを感じて、自動で e:DRYLENS シートの可視光線透過率を調整します（図 21）。



2. オートモード中にスイッチを短押しすると、オートモードが解除され、マニュアルモードに戻ります（図 22）。

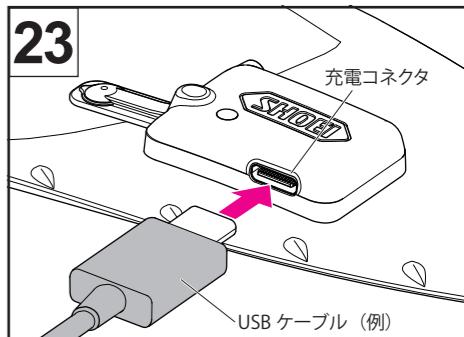
* ヘルメットを使用しない時は、マニュアルモードで「ライト」の状態にすることで、e:DRYLENS コントローラー内のバッテリーの消費を抑えることができます。

e:DRYLENS コントローラーの充電方法

e:DRYLENS コントローラー内のバッテリーを充電します。

e:DRYLENS コントローラーの充電に関する仕様は以下の通りです。必ず、以下の電源仕様、コネクタ端子形状に適合した充電器やモバイルバッテリー、USB ケーブルをお客様にてご準備頂き、使用してください。

電源仕様	5 V / 50 mA
充電用コネクタ端子形状	USB Type-C
充電時間	約3時間 (完全放電から満充電までの時間)
使用時間	「ダーク」の状態で連続約20時間 「ライト」の状態(待機状態)で約1カ月



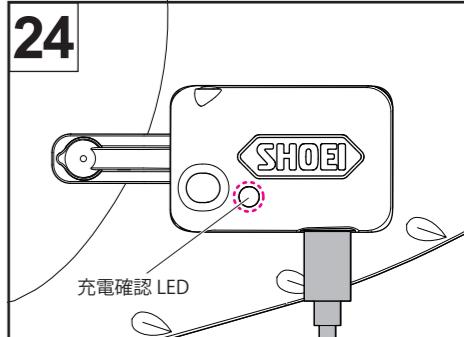
1. e:DRYLENS コントローラーの充電用コネクタに、充電器やモバイルバッテリーの USB ケーブルを差し込みます（図 23）。

充電が開始され、充電確認 LED が緑色に点滅／点灯します。

* 充電が開始されると、最初の約 1 分間は、e:DRYLENS シートが「ダーク」の状態になります。

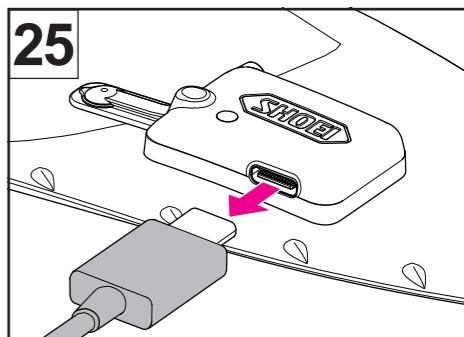
2. バッテリーの充電状況は、充電確認 LED の状態で確認することができます（図 24）。

LED 状態	電池残量
消灯	90 % ~ 100 %
点灯	50 % ~ 90 %
低速点滅 (1秒間隔点滅)	20 % ~ 50 %
高速点滅 (0.25秒間隔点滅)	0 % ~ 20 %



3. 充電確認 LED が消灯したら、充電器やモバイルバッテリーの USB ケーブルを抜きます（図 25）。

- ⚠️
- ・バッテリーが満充電になった状態で、長時間 USB ケーブル差したままにしないでください。
 - ・高出力対応の充電器やモバイルバッテリーを使用した場合、本製品の充電電流が少ない（50 mA）ために、充電器側の過充電防止機能が働いて充電完了を待たず早期に充電停止する事があります。必ず本製品の電源仕様（5 V / 50 mA）に適合する充電器を使用してください。低電力モードを備えた充電器の場合は、充電器の説明書に従って、低電力モードに切り替えて充電してください。
 - ・一般に、リチウムイオンバッテリーは完全に放電した状態で保管すると、劣化する可能性があります。使用しない場合でも 2 ~ 3 カ月に一度、充電する事を推奨します。

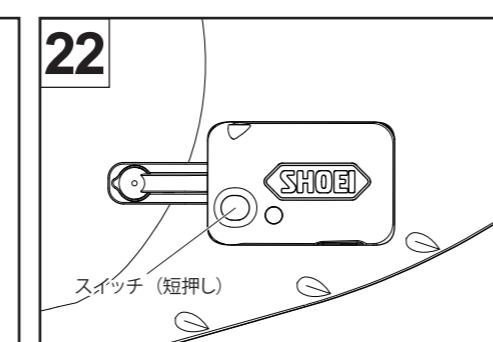
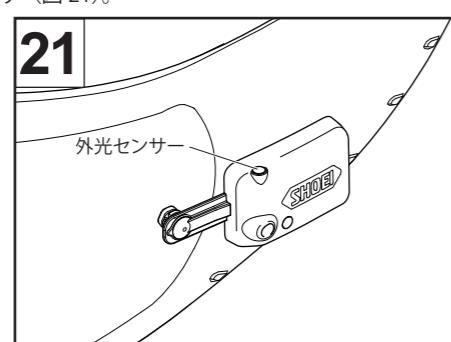
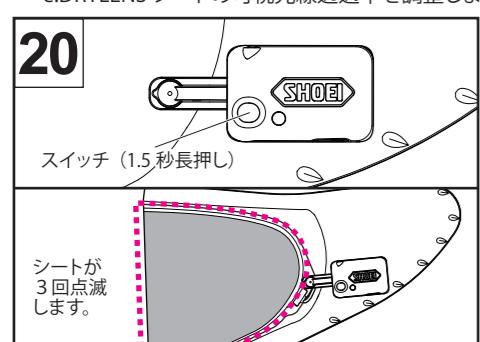


e:DRYLENS のクリーニング

e:DRYLENS シートは、シールドから取り外し、水で薄めた中性洗剤で洗い、よくすすいでください。洗浄後は柔らかい布などで水分を拭き取ってから、自然乾燥させてください。

e:DRYLENS コントローラーは、柔らかい布などで乾拭きしてください。シールドの洗浄で濡れてしまった場合は、柔らかい布などで水分を拭き取ってから、自然乾燥させてください。

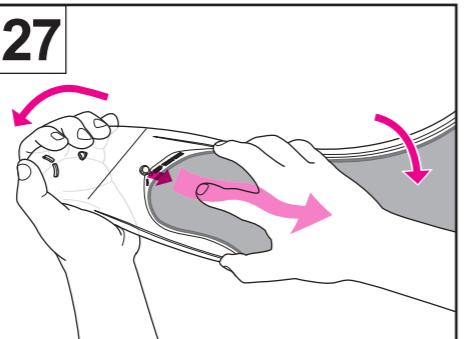
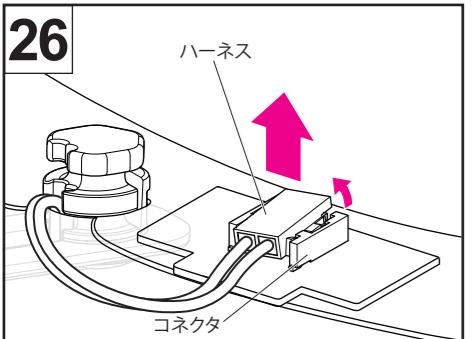
- ⚠️
- ・お手入れの際は、パーツが破損する恐れがありますので、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガラスクリーナー、アルコール類、その他の溶剤は絶対に使用しないでください。また、ドライヤーなどの高温の熱源の使用は避けて自然乾燥させてください。



e:DRYLENS シートの取り外し方

シールドから、e:DRYLENS シートを取り外します。最初に、e:DRYLENS コントローラーのコネクタから、e:DRYLENS シートのハーネスを取り外します。

1. 指の爪などを、e:DRYLENS コントローラーのハーネスの先端側に引っ掛け持ち上げるようにし、ハーネスを e:DRYLENS シートのコネクタから取り外します（図 26）。
2. シールドをヘルメットから外し、取り付けたときと同様にシールドを十分に開いた状態で（図 27）、シート固定ピンから e:DRYLENS シートを抜き取ります。



- e:DRYLENS コントローラーのハーネスと、e:DRYLENS シートのコネクタの取り外しは手順 1 の通りに、ゆっくりていねいに行ってください。ハーネスのケーブルを引っ張って外そうとしたり、無理な力を加えると、破損する恐れがあります。

e:DRYLENS コントローラーを取り外す場合

e:DRYLENS コントローラーを取り外す際は、お買い求めいただきました正規販売店様までお問い合わせください。

本製品の保証

本製品の保証期間はご購入日より 1 年間です。

保証期間中に本製品の材質あるいは製造上の瑕疵があると認められる場合には、無償にて同製品の良品を交換いたします。保証対応の際には、ご購入時の正規販売店のレシートか領収書が必要です。レシートもしくは領収書は必ず保管しておいてください。

交換対応などについては、ご購入先の正規販売店にお問い合わせください。

以下の場合は、保証期間内であっても保証の対象外となります。

- お客様の故意、もしくは不注意による故障または破損。
- 天災や災害、異常電圧による故障または破損。
- 取扱説明書に示された内容以外の使用がされた場合。
- 本製品を分解、改造などを行ったことに起因して生じた故障または破損。
- ご提示いただいたレシートや領収書の記載事項が判別できない、または修正などがされている場合。
- 日本国外での使用において発生した故障または破損。
- 経時劣化。
- 事故による破損、傷または汚れ。
- 通常のご使用過程において付いた傷または汚れ。

株式会社 SHOEI 本社・国内営業部

〒110-0016 東京都台東区台東 1-31-7 Tel: 03-5688-5180 Fax: 03-3837-8245

製品についてのお問い合わせは、お近くの SHOEI 正規販売店か下記 Web サイトをご覧いただき、お問い合わせください。

shoei.com/worldwide/sales.html

